

二〇一四年二月五日

着ぶくれて街頭に立つ見守隊
フレームのカトレアよりもエビネ好き
救急車遠のく音のうそ寒し
川涸るる水禍の痕をむき出しに
降りしきる雪に旗降るガードマン
ちゃんちゃんこ快癒の夫へプレゼント

二〇一四年二月四日

銭湯の帰り路照らす冬の月
ぶり大根あらと謂へども氷見の鰯
酒蔵の杉玉匂ふ冬の雨
降りしきる雪に見送る尾灯かな

二〇一四年二月三日

毘沙門へ紅葉散り敷く女坂
吹き飛ばす眠気車窓の紅葉山
マスクしてスッピンの顔隠しけり
干し物と隣りて並ぶ吊し柿
ここだけの話に倦みし日向ぼこ

二〇一四年二月二日

寒波急地団駄踏みつ砂利の道
着ぶくれて巻き尾の犬に急かれおり

有香

かず

雅流

雅流

みちほ

よし女

はく子

うつぎ

雅流

みちほ

はく子

こすもす

よし女

さつき

宏虎

なつき

よう子

くさめして血圧計の小躍りす

大根煮て豆煮て主婦のひと日果つ

返り花指差す車椅子の人

二〇一四年二月一日

散紅葉池に友禅描きけり

黄落を降りかぶり舞ふ太極拳

都府楼の礎石に座して日向ぼこ

テキストを頼みに毛糸編みにけり

海光のあまねくわたる蜜柑狩

二〇一四年二月三日

剥製の猪が出迎え狩りの宿

田じまいの煙に埋る谷戸盆地

泳ぎ来る白鳥の水脈乱れざる

二〇一四年二月二九日

幼帝を祀るお宮へ七五三

大根焚き腕を半分出る厚さ

黄落の真っ只中に殉教碑

釣り舟のひしめく冬の壇ノ浦

ダム湖とり囲み全山紅葉す

よし女

菜々

うつぎ

はく子

なつき

さつき

こすもす

あさこ

うつぎ

さつき

ともえ

せいじ

なつき

さつき

せいじ

うつぎ

毎日句会みのる選・二〇一四年二月七日